

# ちば

No.125 相談員の情報ページ

## 青少年相談員だより



発行：千葉市青少年相談員連絡協議会 発行責任者：東野 広志 編集：広報調査部



2月15日（土）、フクダ電子スクエア（蘇我スポーツ公園内）で、「千葉市青少年のつどい大会」が開催されました。

「千葉市青少年のつどい大会」は、千葉市青少年相談員連絡協議会が主催する、最も大きなイベントの一つで、毎年、市内の小中学生が、千葉市や近隣市を拠点として活躍するスポーツチームの方々と交流しながら、様々な種目・競技に挑戦します。

### 令和元年度 千葉市青少年のつどい大会

当日は、小学1年生から中学3年生まで、200人を超える子どもたちが集まり、サッカーコート二面分の、広大なフクダ電子スクエアの中に設けられたコーナーを自由に回りながら、様々なスポーツを体験しました。

また、最後は全員で、千葉ロッテマリーンズのチアパフォーマー「M☆SpIas h!!」を先生にダンスレッスン、上手に笑顔で踊れた子には、特別な景品もプレゼントされました。

各コーナーの紹介は中面へ！

### キックターゲット

(協力：ジェフユナイテッド市原・千葉)  
今年も、ジェフユナイテッド市原・千葉のキックターゲットが登場！高得点を狙うには、うまく浮かせられるかがポイントです。悔しくて何度も挑戦する子もいました。



### M☆Splash!!とダンス

(協力：M☆Splash!!)  
千葉ロッテマリーンズのチアダンスのパフォーマーを先生として、ダンスのレッスンを受ける、スペシャルなコーナー。動きだけでなく、表情も大切なポイントです。



### チーバくと記念写真

チーバくと一緒に記念撮影。撮った写真はその場でもらえます。さすがのチーバくん、子どもたちにも大人気でした。



### 50m走

青少年相談員によるコーナー。シンプルな50m走で真剣勝負です。学年ごとに、速かった子には閉会式で表彰を行いました。



### BMX&ランバイク体験

(協力：千葉けいりん)  
毎回人気の千葉けいりんは、BMXの乗車体験や、ミニコース走行で今年も参加。普段ではなかなか乗ることのできないBMXに、子どもたちも大興奮でした。起伏のあるコーナーを走りきった子どもたちは、達成感に満ちた表情でした。



### ピッチング体験

(協力：千葉ロッテマリーンズ)  
子どもたちにももちろん大人気の、千葉ロッテマリーンの、ボールの上手な投げ方のレクチャーを受け、子どもたちにも貴重な体験となりました。



### ラグビーチャレンジ

(協力：クボタスパイアーズ)  
船橋市を拠点とする、クボタスパイアーズによるコーナー。2019年のワールドカップで大きく盛り上がったラグビーに、子どもたちが挑戦、ラン、タックル、ボールキャッチなどを体験しました。



### 遠投

青少年相談員によるコーナー。ボールをどれだけ遠くまで投げられるかにチャレンジしました。



### 恐怖の10本ノック

青少年相談員によるコーナー。次々とくるボールを、いくつキャッチできるかに挑戦しました。



### プロレスラーとヒップレスリング対決

(協力：2AW)

千葉市を拠点に活動するプロレスリング団体「2AW」によるコーナー。子どもたちがヒップレスリング（尻相撲）で、プロレスラーと対決しました。まさかの大金星をあげる子も！



### アメリカンフットボール選手に挑戦!

(協力：オービックシーガルズ)



### グラウンド・ゴルフ

習志野市を拠点とする、社会人クラブチーム、オービックシーガルズによるアメリカンフットボール体験。ボールを持つてのランなどのほか、力持ちの選手たちとの綱引き対決もありました。

青少年相談員によるコーナー。

グラウンド・ゴルフは、通常のゴルフよりも簡単で、子どもでも楽しむことができます。5mコースは一回で入るか、15mコースはどれだけ少ない打数で入れることができるかに挑戦しました。



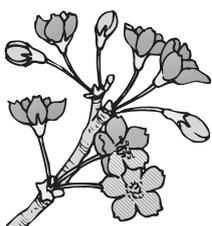
### シッティングバレー

青少年相談員主催のコーナー。オランダで考案されたパラスポーツで、東京オリンピック・パラリ

ンピックでは、千葉市内を会場としている競技です。お尻が地面から離れると反則というルールに、子どもたちも大苦戦？



ご協力いただいたチームの皆さん、そしてご参加いただいた皆さん、ありがとうございました！



## 県央地区青少年のつどい大会

「県央地区青少年のつどい大会」は、千葉市と市原市の青年相談員が共同で行う事業で、一年ごとに担当市を交代しながら、両市の小学3年生から小学6年生を対象に、毎年開催しています。

千葉市が担当市を務めた令和元年度は、11月9日（土）、千葉市動物公園を会場に開催されました。

子どもたちは、千葉市一人、と市原市二人の四人一班となり、「クイズラリー&相談員を探せ！」に挑戦。動物にちなんだクイズのポイントと、園内を回る青少年相談員を見つけた時に獲得できるポイントの合計を競うゲームです。

「2005年、立ち上がる姿で人気者となった、レッサーパンドの名前は？」という難問（今の子どもたちにとっては？）も



ある中、どの班も見事な連係プレーで正解を重ね、クイズは接戦、勝負のカギは「相談員を探せ！」のポイントが握る結果に。最後の閉会式で、ジョーカーとして、マイナスのポイントを持つ青少年相談員がいることが発表されると、子どもたちから悲鳴が！

優秀チームにプレゼントが授与され、イベントが終了したころには、ほんの数時間前に初めて会ったとは思えないほど、打ち解けていました。

## 千葉市青少年相談員研修会

1月26日（日）、中央コミュニケーションセンターを会場に開催され、AEDを用いた心肺蘇生法、異物除去法の救命処置と止血法を学びました。

以前は正しいと思われていたことが今ではNG、という気付きも多くありました。例えば、止血の際、昔よく言われた、腕などを強く縛る方法は、神経などを傷付けるもあるため、現在では、出血箇所をガーゼやハンカチなどで直接圧迫するのが、基本的な処置だそうです。

事業を企画・運営する際は、つい、イベントとしての魅力や楽しさを追及してしまいますが、子どもたちを預かる立場として、とっさの事態に対応するための知識・技術の大切さを、改めて認識した研修会でした。



## 編集後記

本号で大きく取り上げた「千葉市青少年のつどい大会」では、電子申請での申込受付や、小学1、2年生の受け入れを初めて行い、前回大会の3倍以上のお申し込みをいただきました。お申込みいただいた皆様、誠にありがとうございました。

第20期の一年目が終了し、二年目がスタートします。今年度、新たに取り組んできたことの反省を行いながら、次年度はより魅力的な事業を行いたいと思いますので、よろしくお願ひします。